



「ゴミ収集」と「資源回収」 で不公平が生じているが

答 慎重に検討していく

スプレー缶で池川のカレンダーに誤りがあり訂正。ビンとペットボトルは業者が高齢者のことを考え、一升瓶と少量のフ

答

池川健康福祉課長

タ付きペットボトルが混入の場合、吾川・仁淀は回収しない。一升瓶類は購入店に返却してほしい。広域と町で協議後、業者に問題があれば指導する。

答

町民課長

吾川・仁淀地区と池川地区でのゴミの分け方、出し方で資源回収の缶・ビン・ペットボトルに相違点がある。また池川では植木鉢、七輪類の収集をしてないが統一すべきで業者を含めた三者協議が必要では。

問

福原克彦

缶・ビン・ペット
ボトル

各地域のサービスにはらつきがあることは事実

答

町民課長

吾川は缶とペットボトルのみ毎月1回、その他の資源は2カ月に1回。粗大ゴミで仁淀は長いものは1m未満に、吾川・池川は3m以内だ。これは住民サービスに差があり過ぎでは。3担当課長は承知していたか。

問

福原

ピンと来てない

タ付は回収していた。七輪類は現在は収集している。

収集方法と回数の違いは承知していた。3mと1mは気付いてなく、サービスに差がない方向で検討したい。

答

池川健康福祉課長

で、早急に収集方法は変えれないが、対策はしていきたい。

答

仁淀健康福祉課長

3課長で実態を把握し、住民サービスが低下しないよう統一した考え方で協議したい。

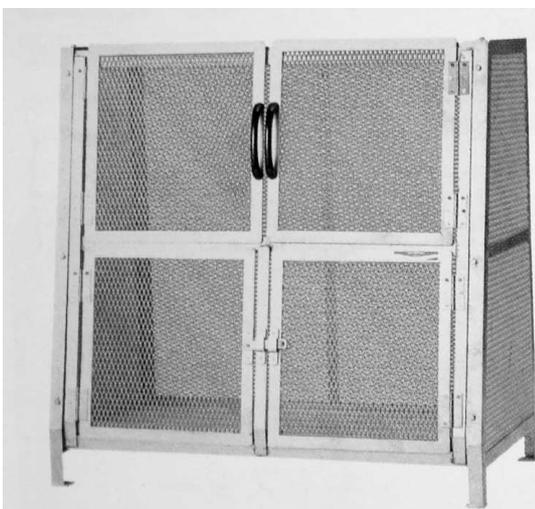
ステーション

問

福原

ゴミステーションに鳥除ネットがなく、カラスなどに散らかされ困っている地域がある。

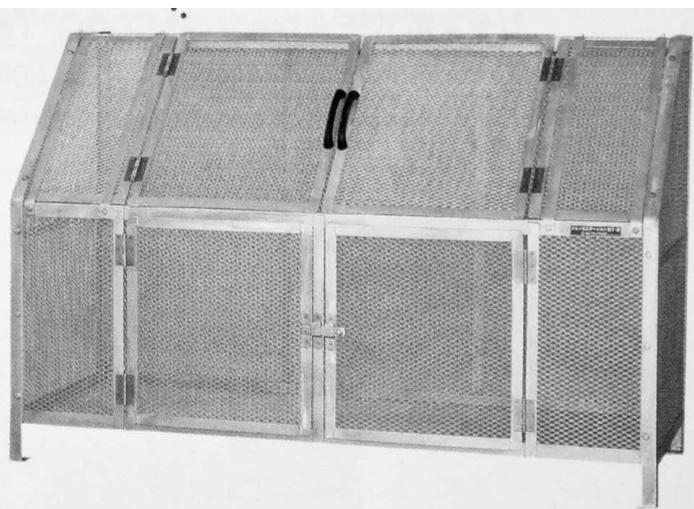
生活対策の3月補正計上だが、なぜ日数がかかるのか。またゴミ箱の満杯時と可燃ゴミ以外の置き場所に問題はないか。



ジャンボメッシュST-760

寸法:幅1200×奥行700×高さ1200mm

760ℓ



ジャンボメッシュST-1100

寸法:幅1800×奥行700×高さ1200mm

1100ℓ

答

町民課長

4月中旬に担当者で協議し、各区長に文書を送付した。確定次第発注したい。収集の関係で各地域とも、場所の確保は難しい。収集日の検討やゴミの分別で減量化を進め、小スペースで可能にすることが重要。

複数年契約

問

福原

今年度で池川の業者の契約が切れるが、同じ土俵の上で、入札は可能か。住民とのコミュニケーションを考えると、委託業者の選定に配慮が必要と思うが、複数年契約の方法は取れないか。

答

副町長

現在、仁淀・吾川と池川で別途に契約し、2業者で収集を行っている。1町で収集方法が違うことは問題があり、一本化

が理想だが、収集回数の違いの調整やパッカー車を町が購入し貸し出すか、契約後請負者が準備するか、いくつかの方法が考えられるが、住民サービスは低下できないので、運営形態や他町村の事例など検討していきたい。単年度契約は業者の変更も考えられ、サービスの低下が予想される反面、毎年入札で事業に参入しやすくなる。複数年契約は経験ができ、住民との対応などメリットがある。一元化か二分化にするかなど、多くの課題に検討が必要で、現在担当課と協議しており、早急に結論が出せるよう取り組む。

資源として回収されるもの

飲食用のみです	缶	<p>①中を必ずよく洗う。</p>  <p>②指定の袋に入れて出してください。</p> 	 <p>資源ごみ指定袋</p>
	ペットボトル	<p>①ふたなどの異物を取り除く。</p> <p>②中を必ずよく洗う。</p> <p>③指定の袋に入れて出してください。</p> <p>素材が違います</p>  	 <p>資源ごみ指定袋</p>
	びん	<p>①ふたなどの異物を取り除き、中を必ずよく洗う。</p> <p>②収集場所に持って行って、置いてある箱に「茶」・「無色」・「その他」の3種類に分けてびんだけを入れる。</p>  	 <p>コンテナ箱 (3種類に分けて入れる)</p>



本庁（大崎地区）は過密になり、支所は過疎が進む（池川保健福祉センター 土居）

問

橋本眞一

保健センターの健康福祉課が支所内に移り一定期間、社会福祉協議会が利用するが、センターは耐震構造になっていない。一定期間でなく社協が事務所として利用できないか。

答

副町長

社協はサポートセンターほかの建て替えを計画しており、当センターの空き部屋を、臨時事務所として一定期間利用する。その後の具体的な利用計画はない。



池川保健センターに社協が定着できないか

答 計画はない

土居地区の水道タンクの安全性は

答 検討していく

問

橋本

土居地区の水道タンクは町の中心上部に設置されている。本体は地中にあるが、露出している本管など地震による二次災害が起こるのではないかと。下方には小学校、支所、民家もあるが安全か。

答

池川地域振興課長

水道タンクは池川神社横に3基、竹ノ谷集落上部に1基、見ノ越に1基計5基ある。神社横の1基だけ耐震性がある。本管部と継ぎ手部分の耐震補強は難しいが、漏水対策は非常に大事なもので十分な対応を検討していく。

問

橋本

古い祝い唄の保存はできているか

昔から祝い唄など伝承されてきたが、最近ではカラオケなどにおされ聞く機会がなくなった。後世に残すことが大切だが保存されているか。

答

教育長

農村文化として祝い唄など歌われてきたが、生活様式、社会環境の変化で聞かれなくなった。デジタル記録装置が開発され、長期保存が可能になり、収集保存を検討していく。



町の上に水道タンクが設置されている。大地震による二次災害が懸念される（土居）



「黒森山」を町の広告塔に

答 越知町と相談して

問

西森常晴

国道33号の越知町側から皆伐されている「黒森山」が目に入るが。

答

産業建設課長

伐採場所は、越知町横畠で、県内の林業会社が所有者から委託を受け行っている。
20年度に10ha、21年度は9.82haを計画しており、その後については確認していない。
町としては、町内の間伐には力を入れていきたい。

問

西森

非常に目立つ場所だ。皆伐後の山を、町を発信する広告塔に利用する考えはないか。

答

産業建設課長

越知町と相談してみた。



黒森山

地域担当職員制度

成果は上がったか

答 多くの町民に喜んでもらえた

問

西森

地域担当職員制度の活動内容と成果について聞く。

答

企画課長

町内を19地域に分け、職員を6〜7人割り当て18年度から地域訪問を開始した。
3年間で約300件の意見を聞き、緊急性の高いものから順次対応してきた。
多くの町民に喜んでもらえたとの報告を受けている。

問

西森

名野川地区で懇談会があった。
117世帯で159人中14人が参加し懇談した。
いろいろな要望が出たがその中で気になったことがある。
「役場にきて下さい」の発言だ。町民から要望があれば、腰軽く出向いて行けないか。

答

企画課長

それは個人が間伐する場合の方法を聞かれた件だ。間伐事業は、所有地の状況（面積など）を確認しないと判断しがたい。

部分があり、役場には資料がそろっており「役場にきて下さい」の発言となった。
ご指摘のとおり、現地に行つて現物を現実に触れる「三現主義」を徹底していく。

七福神

何とかならないか

答 対応する

問

西森

中津溪谷に七福神を建設して20年がたった。壊れたさいせん箱、人工の手すりが自然景観を損ねている。何とかならないか。

答

産業建設課長

中津観光協会と相談して対応したい。



福祿寿（中津溪谷）